2022年度あかしSDGsパートナーズ実績報告書

様式 3

No. 92 江井ヶ島漁業協同組合

記入日 2023年(令和5年)4月1日

| 1. 2030年までに 達成したいこと | 漁業の強みを活かした海上清掃による、マイクロプラスチック 環境問題に取り組む。また、廃フロートの燃料ペレット化を推 進し、リサイクルモデルを取り入れた地域社会発展に努める。 | | 「 11 13 | Part AT | 2 **** | 3 FATBALL | 4 ROBLINGE SALES | 5 \$205-988 | 6 TREASURE | 7 sead-seadar | 8 Minust | 9 ##SHERE |
|------------------------|--|-----|---------------|-------------------|-------------|--|------------------|-------------|------------|---------------|---|-----------|
| 2. 取組の概要 | 持続可能な豊かな海と陸の保全を目指し、海上清掃等を行うとともに学校関係への質の高い教育(出前授業)を促進する。また、燃料代替としてのフロート再資源化を図る。2030年以降も見据えた海上発泡プラゴミの再資源化等に取り組む。 | ゴーノ | 10 |) / CEOTTY + CCT) | 11 taxinses | 12 200 mg | 13 redari | 14 #08956 | 15 ROZES 6 | 16 #RDEE | 17 #################################### | |

4. 主な取組の達成状況 ①目標値 ②当初值 ③実績値 達成度 ・底曳網船等の漁具を活かした海上清掃の実施 ・陸へ分散する漂着ゴミの回収 清掃活動年回収量 12 トン トン 10 トン 1 トン ・海上テトラ清掃 122% ・台風等のよる湾内浮遊ゴミの回収 2030年度 2020年度 2022年度 2023年度 ①目標値 ②当初值 ③実績値 達成度 ・廃フロート再資源化のための減容化及び 3 トン 0 トン 1トン トン ペレット化年間 燃料ペレット化 33% 2030年度 2023年度 2020年度 2022年度 ①目標値 ②当初值 ③実績値 達成度 (3) #DIV/0! 2020年度 2022年度 2023年度

| 5. 取組結果 | る漂着ゴミ(31回)、海上テトラ清掃(10回)、浮遊ゴミ(10回)で約12トンを回収。 ・廃フロート600個再資源化(5日+イベント1日)、ペレット化(1日+イベント1日)、専用ボイラー燃焼試験(2回)を行い、作動に問題ない発熱量が得られた。 |
|----------|--|
| 6. 今後の課題 | ・海上浮遊ゴミ対策として、船外機を用いた高効率の回収方法(漁網)を検討。(2025年までに確立。) |
| と取組 | ・廃フロート減容及びペレット化に関しては、効率よく減容化できる新機械(50kw,約1分/個で破砕・減容可能)の開発を推進し、新ペレット機に関してもそれに連動する設計に変更。(2027年までに機械開発、2030年までに実用化) |

・海上清掃:6隻×22人×1回の大規模清掃を行った。それ以外にも陸へ分散す

団体名:江井ヶ島漁業協同組合

担当課:事務課

問合せ先 電 話:078-946-1313

メール: jf_eigashima@tea.ocn.ne.jp

担当者:松尾 康弘

連携希望

リサイクル推進・機械開発等において情報交換 ができる企業との連携を希望します。